

第54回 防府市民短歌大会受賞作品 一般の部 令和7年10月5日

市長賞

靱殻に抱かれて届くサツマイモ二人居案じるメモも置かれて 河野美津子

市議会議長賞

おばあちゃんの料理食べたい 夏バテを奮い立たせる魔法の言葉 吉武 信子

教育長賞

不揃いの生垣なれど帰省せし子らの挑戦 初盆を待つ 梁瀬 則子

文化協会会長賞

招き猫に時々入れる五百円温泉くらみなら行けさうだ 光井加代子

天満宮梅花賞

愚痴っても貴方は静かに笑ってる遺影はいつも頑張れとだけ 山口 正子

観光コンベンション協会会長賞

「困ったらいつでも僕に電話して」番号告げず夫は逝きたり 永野 瞳

商工会議所会頭賞

日本海ブルーのブローチ失せしまま潮騒とだえて暮れゆく晩夏 木原 樹庵

青年会議所理事長賞

初川の釣り人ひざまで水の中釣り上げたアユの朝陽にきらめく 河野 敬子

短歌会会長賞

けふもまた飴玉一つ口に入れ荒草繁る畑に出でゆく 世良 弘美

佳作賞

初盆のA・Iに習いし<sup>れいぐぜん</sup>霊供膳母の好みのおはぎを添えて 桑原 知子

成行きにまかせる術<sup>すべ</sup>をおぼえたりあらゆる神に頼みていたが 柳井 靖子

むらさきの<sup>なよぐさ</sup>弱草藤は風のなか〈世渡り上手〉の花言葉もち 藤田 淳子

黒布で電球かくし息ひそめ戦の中の五歳なる夜 渡辺 和子

亡き夫を癒した庭の山モモは若葉を風にそよがせている 福江 博子

今日一ト日母でありまた子でもあり無邪気にはしやぐ母の日ののはは 尾辻のぶほ